だい きぎょうだししょう しゃけいかく 第5期行田市障がい者計画

だい きぎょうだししょう ふくしけいかく 第7期行田市障がい福祉計画

だい きぎょうだししょう じふくしけいかく 第3期行田市障がい児福祉計画

■■■ けいかく もくひょうぞう ■■■ 計画の目標像

だれ たが ささ
誰もがお互いに支えあい、
じぶん い い く きょうせい
自分らしく生き生きと暮らせる共生のまち

れいわ ねん がつ きぎょうだし
令和6年3月 行田市

けいかく きかん 計画の期間

ほんけいかく だい きぎょうだししょう しゃけいかく れいわ ねんど れいわ ねんど
本計画（第5期行田市障がい者計画）は、令和6（2024）年度から令和11（2029）年度まで
の6年間を計画期間とします。

この期間中において、「第7期障がい福祉計画」及び「第3期障がい児福祉計画」の部分につ
いては、令和8（2026）年度中に見直し、それぞれ「第8期障がい福祉計画」及び「第4期障
がい児福祉計画」とする予定です。

また、計画期間中に国や県の障がい福祉に関する施策や社会経済情勢等に大きな変化があつ
た場合には、必要に応じて計画全体についても見直しを行います。

	れいわ ねんど 令和6年度 (2024年度)	れいわ ねんど 令和7年度 (2025年度)	れいわ ねんど 令和8年度 (2026年度)	れいわ ねんど 令和9年度 (2027年度)	れいわ ねんど 令和10年度 (2028年度)	れいわ ねんど 令和11年度 (2029年度)
ぎょうだししょう しゃけいかく 行田市障がい者計画	だい き 第5期					
しょう ふくしけいかく 障がい福祉計画		だい き 第7期			だい き (第8期)	
しょう じふくしけいかく 障がい児福祉計画		だい き 第3期			だい き (第4期)	

きほんもくひょう 基本目標

I. 「共生社会」の実現のために
III. 住み慣れた地域でいつまでも
暮らし続けるために

II. 社会参加と仕事をしていくために
IV. 能力や個性を伸ばすために

せさく ほうこう しょう かた そうだん しえんたいせい せいび
 施策の方向1. 障がいのある方の相談・サービス支援体制の整備

しゅう せさく 主要施策	おも しんき せさくとう 主な新規施策等
(1) そうだんたいせい じゅうじつ 相談体制の充実	ちい せい いかつ しえん きよてん せいび ・地域生活支援拠点の整備 しどうはつたつ しえん きのう ゆう たいせい せいび ・児童発達支援センターの機能を有した体制整備 など
(2) しょう しゃ そうだん しえん じぎょう すいしん 障がい者相談支援事業の推進	また さい た ま し ょ う しゃ せい いかつ し えん か つ ょ う せい いかつ し えん ・「北埼玉障がい者生活支援センター」を活用した生活支援 など
(3) しょう しゃ ケア マネジメント たいせい 障がい者ケアマネジメント体制の充実	しょう がい の ある ひと への し えん は い り ょ う と 学 び と 組 ん で い く た め せ い ち ょ う ・障がいのある人への支援や配慮等を学び、取り組んでいくため、成長 だん かい おう し せ つ と う たい し ょ う けん し ゅ う 段階に応じた施設等を対象とした研修 しょう がい の ある ひと が 高 齢 に な っ て も 現 在 の ま ま の 生 活 を 維 持 し て い け る ・障がいのある人が高齢になっても、現在のままの生活を維持していける よ う 障 がい の ある 人 等 の 意 思 を 確 認 し な が ら の 支 援 な ど
(4) グループホームへの支援	お や な あ と し ょ う ひと せい いかつ きよてん ・親亡き後の障がいのある人の生活拠点の1つとして、グループホームの だん かい おう し せ つ と う たい し ょ う けん し ゅ う 設置・開設を希望する社会福祉法人や NPO 法人等の相談体制の整備 ・グループホームからの地域移行を希望する場合の相談体制の整備
(5) しょう がい ふくし を さ える 支 援 者 の 人材の育成・確保、高齢化対策	しょう がい ふくし サービス じぎょう じよ じんざい かくほ ・障がい福祉サービス事業所の人材確保における課題の情報収集 し い せい いかつ い こ う と も な し えん しゃ じんざい いく せ い かくほ ・地域生活への移行に伴う支援者の人材育成・確保 など
(6) ふくごう けい ち せ い かい かい だ い 複合的な問題を抱えた課題に たい そうだん しえん たいせい せいび 対する相談支援体制の整備	しょう がい の ある ひと こ こ しょう ぐ かい こ う り ょ ひ つ ょ う し えん ・障がいのある人の個々の障がい特性を考慮し、必要な支援について けん とう しょう しゃ ほん にん い こ う と う かく にん と く 検討し、障がい者本人の意向等を確認しながらの取り組み しょう がい の ある じ どう しょう がい の ある こ う れい しゃ と う そうだん ・障がいのある児童や障がいのある高齢者等の相談をはじめ、複合的な かい だ い かん けい き かん れん けい じ ゅ う そ う て き そうだん し えん たいせい せいび 課題についての関係機関と連携した重層的な相談支援体制の整備
(7) サービス情報の提供	しょう がい ふくし サービス じぎょう じよ じっし ない ょ う じ ょ う ほう ・障がい福祉サービス事業所で実施しているサービスの内容の情報 てい き ょ う 提供
(8) せいしん ほけん かつどう すいしん 精神保健活動の推進	せいしん しょう しゃ きぼう おう しえん たいせい せいび ・精神障がい者の希望やニーズに応じた支援体制の整備についての協議 また さい た ま ち い き せいしん しょう しゃ たい おう ほう かつ し えん ・北埼玉地域における「精神障がい者にも対応した包括支援システム たいせい かく ち く すいしん 体制」の構築の推進 など

せさく ほうこう しょう ひと じりつ む しゅうろう しえんたいせい せいび
 施策の方向2. 障がいのある人の自立に向けた就労支援体制の整備

しゅう せさく 主要施策	おも しんき せさくとう 主な新規施策等
(1) かんけい きかん れんけい きやうか 関係機関との連携強化	また さい た ま し ょ う しゃ し ゅ う ろ う し えん さい た ま ・ハローワークをはじめ、北埼玉障がい者就労支援センター、埼玉 し ょ う がい し ゅ ゃ し ゅ く ぎ ょ う し ゅ く ぎ ょ う の り ゃ く かい は つ こ う し ゅ う ろ う い こ う し えん 障害者職業センター、職業能力開発校、「就労移行支援」サービ てい き ょ う じ ゅ ゃ う し ゅ ゃ れん けい い じ き ゃ う か ス提供事業者などとの連携の維持・強化 など
(2) しょう ぎ ょ う 職業リハビリテーションの し ゅ う ち 周知	つう いん かん じ ゃ じ ゅ ゃ う し ゅ く ば て き お う く れ ん き ゃ う り ゃ く じ ゅ ゃ う し ゅ ・通院患者リハビリテーション事業や職場適応訓練などの協力事業所 の確保への協力 など
(3) いっぱん し ゅ う ろ う そくしん 一般就労の促進	しょう しゃ こ ょ う り つ じ ゅ ん し ゅ しょう しゃ こ ょ う し えん げ っ かん し ゅ う ち こ ょ う じ ょ せい き ん ・障がい者雇用率の順守や障がい者雇用支援月間の周知、雇用助成金 せい ど し ゅ う ち けい は つ 制度の周知・啓発 また さい た ま し ょ う しゃ し ゅ う ろ う し えん き ょ う だ し は に ゅ う し か そ し き ゃ う だ ん せ つ ち ・北埼玉障がい者就労支援センター(行田市・羽生市・加須市共同設置) に よ る こ こ と く せい お う し ゅ う ろ う じ ゅ ん び し えん し ゅ く ば かい た く し ゅ う し ゅ く し えん による、個々の特性に応じた就労準備支援や職場開拓・就職支援、 し ゅ く ば て い ち ゃ く し えん 職場定着支援 など
(4) こうてき きかん こよう そくしん 公的機関の雇用の促進	し し ゅ く い ん だ ん しょう ひと こ ぎ ょ う せ つ き ゃ く て き と く しょう がい しゃ ・市職員等への障がいのある人の雇用の積極的取り組み、障がい者 こ う り つ こ う じ ょ う 雇用率の向上 など

(5) 福祉的就労の充実	<ul style="list-style-type: none"> 福祉施設などの製品を販売する福祉の店などへの支援・整備 発達障害者就労支援センター（ジョブセンター）の周知・広報 など
(6) 市内での就労相談支援体制整備の検討	<ul style="list-style-type: none"> ハローワークや北埼玉障がい者就労支援センター等と連携し、就労意欲のある方の相談に基づく就労支援体制の整備 障がいのある人の多様な働き方（テレワーク、短時間勤務等）をはじめ、雇用についての情報収集 など
(7) 多様な就業の機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある人の農業への就労をはじめとした、多様な就業の機会の場について、ハローワーク、関係機関等と連携し整備 など

施策の方向3. 防災・減災等における障がいのある人の支援体制の整備

主要施策	主な新規施策等
(1) 施設防災体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> 新たに開設した、障がい・高齢の福祉施設との間での、新たな福祉避難所の協定締結 など
(2) 住宅防災対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 住宅火災警報器などの設置促進 など
(3) 災害対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> 災害時避難行動要支援者の個別避難計画の作成 など
(4) 緊急通報システムの整備	<ul style="list-style-type: none"> 緊急通報システムの拡大、聴覚障がい者用緊急通報ファックスのりようそくしん利用促進 緊急通報システムNET119の周知・利用促進 など
(5) 防犯等体制の推進	<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある女性や子ども、高齢者等の犯罪被害等を防ぐため、防犯関係部署や警察等の関係機関との相談支援体制の整備 など
(6) ボランティア活動体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> 「ボランティアセンター」におけるボランティア活動と障がいのある方のニーズとの調整の支援 など
(7) ボランティアの育成	<ul style="list-style-type: none"> 市社会福祉協議会によるボランティア講座やボランティア団体の育成に対する支援 など

施策の方向4. 幼少期からの適切な療育・支援体制の整備

主要施策	主な新規施策等
(1) 疾病予防・早期発見の推進	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦健康診査、妊婦相談等の実施 乳幼児健診、健康教育、乳幼児相談及び乳児産婦全戸訪問の充実、医療機関をはじめとした関係機関と連携した発達障がい等についての迅速・適切な支援 など
(2) 障がい児療育システムの整備	<ul style="list-style-type: none"> 福祉・保健・教育・医療の連携の強化による一貫した療育体制づくり 保育所・幼稚園に通園している発育や発達の遅れなどのある児童に対し支援を行う「保育所・幼稚園巡回相談」「保育所等訪問支援事業」の実施 など
(3) 発達障がいやその疑いを含めた、障がいのある子どもに対する支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援センターの機能を有した支援体制を、本市の実情を踏まえて令和8年度末までに整備、保育所等への巡回支援の充実等、地域における障がい児の支援体制の推進 など

<p>(4) 障がい児保育の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所への障がい児の受入体制の充実、研修の充実などによる保育者の資質の向上 ・障がいや疾患などで個別のケアが必要な場合等に、保護者の自宅で1対1の保育を行う居宅訪問型保育等事業所の整備 など
<p>(5) 手帳の愛称等の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・早い段階での適切な療育等、障がい福祉サービスを受けられるようにするため、手帳を所持することに対する抵抗感を減らす愛称等の検討 など
<p>(6) 適正な就学支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉課、子ども未来課、健康づくり課、教育委員会、教育支援センター等が連携した教育相談・支援体制の整備 ・発達や発育に不安のある児童やその保護者に対する相談・助言等、適切な就学支援の推進
<p>(7) 特別な支援を必要とする児童 ・生徒への指導内容の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーターの活用と一人ひとりに応じた指導内容の充実 ・特別支援教育支援員（きらきらサポーター）の育成 など
<p>(8) 交流教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の学級と特別支援学校の交流や特別支援学級との合同学習、「総合的な学習の時間」等を利用した施設訪問や車いす・手話体験などの実施 など
<p>(9) インクルーシブ教育・インクルーシブ教育システムの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある児童とない児童が共に学ぶことができる包括的な教育を実施するため、障がいのある児童が、障がいの特性に応じた教育を受けることができるよう必要な施策の推進 ・インクルーシブ教育システムを活用した多様な学びの場の充実 など
<p>(10) 関係機関との連携強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児、聴覚障がい児等、専門的な支援が必要な子ども等とその家族への対応のため、地域における連携体制の強化 など
<p>(11) 放課後児童対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の学童保育室においても障がいのある児童の受入れ、放課後児童支援員の障がい児指導についての知識・技能向上のための研修への参加促進 など

施策の方向5. 障がいのある人の権利擁護体制の整備

<p>主要施策</p>	<p>主な新規施策等</p>
<p>(1) 権利擁護の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「障害者差別解消法」、「行田市障がい者差別解消推進条例」に関する市職員の研修継続 など
<p>(2) 権利行使の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中核機関（成年後見センター（仮称））の設置を、市社会福祉協議会をはじめとした関係機関と連携し協議 ・『福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）』の推進 など
<p>(3) 虐待防止対策の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止のためのネットワークや相談体制の構築・充実と、虐待の防止、早期発見・早期対応 ・「市障害者虐待防止センター」における、埼玉県虐待通報ダイヤル（#7171）、市内の障がい福祉事業所や相談支援事業所等の関係機関と連携した虐待の防止、早期発見・早期対応 など

<p>(4) 障がい理由とする差別の解消、合理的配慮の提供の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 障がいの分野ごとに不当な差別的取扱い及び社会的障壁の除去の実施についての合理的配慮の提供事例等の情報の収集、整理及び提供 障がい、障がいのある人及び障がいの社会モデルに関する知識の普及啓発のための広報活動その他の啓発活動の計画的推進 など
--------------------------------------	--

施策の方向6. 障がいのある人等に配慮したまちづくりの取り組み

<p>主要施策</p>	<p>主な新規施策等</p>
<p>(1) 福祉のまちづくりの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者駐車場、多目的トイレ等の適正利用の啓発 など
<p>(2) 公共交通の利便性向上の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある人も含め、幅広い世代の方の移動手段を確保し、気軽に利用できるよう、新たなモビリティサービスの導入など持続可能な地域公共交通への再編の推進 など
<p>(3) 歩きやすい歩行空間の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幅の広い歩道の整備や歩道の段差の改善 障がい者団体等が実施するバリアフリーウォッチング等に参加し、障がいのある人の視点の把握と環境の整備 など
<p>(4) 福祉車両の活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> 福祉車両貸出事業などによる、障がいのある人の外出支援 公共交通機関を介さず利用できない障がい者等に対し、ドア・ツー・ドアの個別送迎を行う有償の移送サービスの周知・広報 など
<p>(5) 広報・啓発・普及活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市報やホームページ、SNS等を活用した広報・啓発活動の実施 インクルージョンの考え方の普及と啓発を図るため、「やすらぎの里フェスティバル」や「障がい者スポーツ・レクリエーション大会」などの啓発交流事業を推進 など
<p>(6) 福祉教育の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校における施設訪問や福祉教育の推進 障がいのある人への不当な差別的取扱いの禁止や、合理的配慮の提供に関する出前講座等の実施 など
<p>(7) 福祉情報提供の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 障害者手帳新規交付時における、ガイドブック『障害者福祉制度のご案内』の添付継続、サービス情報の提供 など
<p>(8) 社会参加への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市主催の催しものへの手話通訳者の導入と視覚障がい者への配慮 手話通訳が生活の中で必要な方に対し、コミュニケーションを円滑に行うため、必要に応じた手話通訳者派遣 など
<p>(9) 障がい者団体等の活動促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者団体等が行う情報提供活動への支援 など
<p>(10) 障がいに配慮した情報提供の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 発達に障がいのある児童や視力に障がいのある人をはじめ、障がいの特性に応じた図書の設定（大活字本コーナー等） 車いす利用者に配慮した市内トイレガイドマップ等の更新 など
<p>(11) 行政情報のアクセシビリティ（情報利用しやすさ）の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある人の情報の取得等に関する調査研究 障がいのある人の情報の取得等の重要性に関し、理解を深めるための広報・啓発活動 など
<p>(12) 情報機器利用の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> 重度の視覚障がいや上肢に障害のある方が情報機器を使用する際の費用の一部助成 など

(13) コミュニケーション施策の充実	<ul style="list-style-type: none"> 手話通訳者派遣事業及び要約筆記者派遣事業の充実 意思疎通支援者の確保・養成・資質の向上 など
(14) 意思疎通の支援	<ul style="list-style-type: none"> 障がいのある人が情報を円滑に取得し、又は理解しやすくするため、点字や平易な表現等の障がいの特性に応じた意思疎通手段の普及、必要な施策の実施 など
(15) 機能訓練事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> 身体機能の維持向上と健康増進を目的とした機能回復訓練の充実 など
(16) 医療体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 感染症等に伴い、福祉事業所等の施設での予防対策が必要な場合における、県や医療機関、健康づくり課等と連携した施設への助言 など
(17) 住宅改造助成制度等の普及	<ul style="list-style-type: none"> 「重度身体障害者居宅改善整備費補助金」や「福祉資金貸付制度」の周知・普及 など
(18) 公営住宅の整備促進	<ul style="list-style-type: none"> 既存市営住宅の建て替えや改修時のバリアフリー化 など
(19) 医療給付などの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> 重度心身障害者医療費助成の周知、医師会の協力を得ての申請の簡略化及び窓口払いの無料化を継続 自立支援医療制度及び指定難病医療費・小児慢性特定疾病医療費公費負担制度の周知 など
(20) 健康づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病の予防等、個々の市民の状態に応じたきめ細やかな支援 など
(21) 一人暮らしへの移行支援等について	<ul style="list-style-type: none"> 本人の意思を尊重した地域生活を支援するための、障がい福祉事業所をはじめとした関係機関と連携し、定期的な巡回訪問等による支援 など
(22) 生涯学習活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> 手話通訳者やボランティアの協力による、各種講座や教室などへ参加できる条件の整備 など
(23) スポーツ・レクリエーション活動の振興	<ul style="list-style-type: none"> 『障害者スポーツ・レクリエーション大会』の開催継続による、障がい者スポーツの振興と、障がいのないひととの交流や社会参加の推進 など

福祉サービスの充実及び目標 (市独自で数値目標を設定したもの) (任意事業)

①避難行動要支援者個別計画の作成件数	ひとりでの避難が困難である方(約700人)のうち、個人情報同意を得た方
②福祉避難所の協定締結数	> 令和8年度 15カ所

(国の基本指針に掲げられた成果目標について、本市での目標を定めるもの)

①地域生活支援の充実拠点の設置数	> 令和8年度 4カ所
②障がい児支援の提供体制の整備等(児童発達支援センターの設置数)	> 令和8年度まで 1カ所
③福祉施設から一般就労への移行等(一般就労移行者数)	> 令和8年度 41名
④福祉施設の入所者の地域生活への移行者数	> 令和8年度 6名
⑤精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築(協議回数)	> 令和8年度 5回
⑥相談支援体制の充実・強化等(基幹相談支援センターの設置数)	> 令和8年度まで 1カ所
⑦障害福祉サービス等の質を向上させるための取組に係る体制の構築(障害福祉サービス等が提供できているかの検証の実施)	> 令和8年度まで 年1回

サービス提供見込量

自立支援給付

		令和6年度	令和7年度	令和8年度
訪問系	居宅介護・重度訪問介護	9,375 (時間/月)	9,850 (時間/月)	10,300 (時間/月)
	同行援護・行動援護・ 重度障害者等包括支援の合計	194 (人/月)	203 (人/月)	211 (人/月)
日中活動系	生活介護	4,300 (人日/月) 215 (人/月)	4,400 (人日/月) 220 (人/月)	4,500 (人日/月) 225 (人/月)
	自立訓練(機能訓練)	40 (人日/月) 2 (人/月)	40 (人日/月) 2 (人/月)	40 (人日/月) 2 (人/月)
	自立訓練(生活訓練)	200 (人日/月) 10 (人/月)	200 (人日/月) 10 (人/月)	200 (人日/月) 10 (人/月)
	就労選択支援	—	10 (人/月)	10 (人/月)
	就労移行支援	720 (人日/月) 40 (人/月)	720 (人日/月) 40 (人/月)	720 (人日/月) 40 (人/月)
	就労継続支援(A型)	560 (人日/月) 30 (人/月)	560 (人日/月) 30 (人/月)	560 (人日/月) 30 (人/月)
	就労継続支援(B型)	3,000 (人日/月) 150 (人/月)	3,100 (人日/月) 155 (人/月)	3,200 (人日/月) 160 (人/月)
	就労定着支援	22 (人/月)	25 (人/月)	30 (人/月)
	療養介護	6 (人/月)	6 (人/月)	6 (人/月)
	短期入所(福祉型)	275 (人日/月) 55 (人/月)	300 (人日/月) 60 (人/月)	325 (人日/月) 65 (人/月)
	短期入所(医療型)	55 (人日/月) 11 (人/月)	55 (人日/月) 11 (人/月)	55 (人日/月) 11 (人/月)
居住系	自立生活援助	5 (人/月)	5 (人/月)	5 (人/月)
	共同生活援助(グループホーム)	150 (人/月)	170 (人/月)	180 (人/月)
	施設入所支援	90 (人/月)	110 (人/月)	130 (人/月)
相談支援	計画相談支援	550 (人/年)	560 (人/年)	580 (人/年)
	地域移行支援	3 (人/年)	5 (人/年)	6 (人/年)
	地域定着支援	8 (人/年)	16 (人/年)	24 (人/年)

障がい児に対する福祉サービス

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
児童発達支援	2,500 (人日/月) 125 (人/月)	2,700 (人日/月) 135 (人/月)	2,900 (人日/月) 145 (人/月)
放課後等デイサービス	1,920 (人日/月) 160 (人/月)	2,040 (人日/月) 170 (人/月)	2,520 (人日/月) 180 (人/月)
保育所等訪問支援	8 (人日/月) 4 (人/月)	12 (人日/月) 6 (人/月)	16 (人日/月) 8 (人/月)
居宅訪問型児童発達支援	2 (人日/月) 1 (人/月)	2 (人日/月) 1 (人/月)	2 (人日/月) 1 (人/月)
障がい児相談支援	200 (人/年)	210 (人/年)	220 (人/年)
医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整するコーディネーターの配置	1 (人/年)	2 (人/年)	2 (人/年)

ちいきせいかつしえんじぎょう ひつすじぎょう
地域生活支援事業【必須事業】

		れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
事業 相談支援	基幹相談支援センター	設置あり	設置あり	設置あり
	市町村 相談 支援 機能 強化事業	実施なし	実施なし	実施あり
	住宅入居等支援事業	実施なし	実施なし	実施あり
成年後見制度利用支援事業		実施見込み4箇所	実施見込み5箇所	実施見込み6箇所
支援事業 意思疎通	手話通訳者派遣事業	設置あり	設置あり	設置あり
	要約筆記者派遣事業	実施あり	実施あり	実施あり
	手話通訳者設置事業	実施なし	実施なし	実施あり
事業 用具給付等	介護・訓練支援用具等	40 (件)	42 (件)	44 (件)
	排せつ管理支援用具	1,450 (件)	1,475 (件)	1,500 (件)
手話奉仕員養成研修事業		20 (人/年)	20 (人/年)	20 (人/年)
移動支援事業		450 (人/年) 4,700 (時間/年)	460 (人/年) 4,800 (時間/年)	470 (人/年) 4,900 (時間/年)
地域活動支援センター		325 (人/年) 6,500 (時間/年)	330 (人/年) 6,600 (時間/年)	335 (人/年) 6,700 (時間/年)

ちいきせいかつしえんじぎょう にんいじぎょう
地域生活支援事業【任意事業】

	れいわ ねんど 令和6年度	れいわ ねんど 令和7年度	れいわ ねんど 令和8年度
訪問入浴サービス事業	6 (人/月)	8 (人/月)	16 (人/月)
日中一時支援事業	25 (人/月)	28 (人/月)	30 (人/月)
巡回支援専門員整備	10 (箇所) 25 (人)	10 (箇所) 25 (人)	10 (箇所) 25 (人)
知的障害者 職親委託	1 (人)	1 (人)	1 (人)

けいかく すいしん
計画の推進

庁内関係部署、市民や障がい福祉関係事業者、更に県や国の関係機関との連携・協働に努めます。
 また、「行田市障害者等支援協議会」において計画推進の体制を整え、本計画の進行管理に取り組むことにより、実効性の向上に努めます。
 あわせて、本市と加須市及び羽生市で設置する「北埼玉地域障がい者支援協議会」で圏域での課題に取り組んでいきます。

だい きぎょうだししやう しゃけいかく
第5期行田市障がい者計画

だい きぎょうだししやう ふくしけいかく だい きぎょうだししやう じふくしけいかく
第7期行田市障がい福祉計画・第3期行田市障がい児福祉計画

れいわ ねん がつ
令和6年3月

へんしゅう はっこう きぎょうだし けんこうふくしやう ふくしか
編集・発行 行田市 健康福祉部福祉課

〒361-8601 埼玉県行田市本丸2番5号 TEL : 048-556-1111 FAX : 048-554-6701